

令和5（2023）年度 ▶ 令和12（2030）年度

この計画は、2050年脱炭素社会の実現を目指し、市民、事業者、行政が一体となって小千谷市の温室効果ガス排出削減に向けて取り組むための計画です。

## 1 地球温暖化って？その影響は？

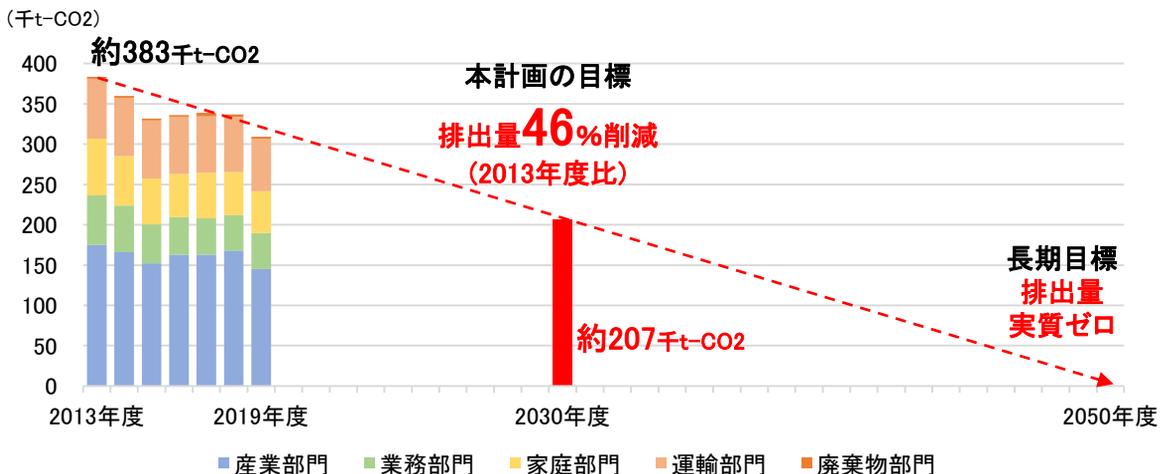
- ・地球温暖化とは、人間の活動が活発になるにつれて、地球全体の平均気温が上昇している現象のことです。大気中の二酸化炭素濃度の上昇が温暖化の要因とされています。
- ・この地球温暖化は、猛暑や豪雨の増加など私たちの生活に大きな影響を及ぼします。



<b>1</b> <b>海面上昇 高潮</b> <small>(沿岸、島しょ)</small>	<b>2</b> <b>洪水 豪雨</b> <small>(大都市)</small>	<b>3</b> <b>インフラ 機能停止</b> <small>(電気供給、医療などのサービス)</small>
<b>4</b> <b>熱中症</b> <small>(死亡、健康被害)</small>	将来の 主要なリスク とは？ <small>複数の分野地域におよぶ                  主要リスク                  出典) IPCC第5次評価報告書 WGII</small>	<b>5</b> <b>食糧不足</b> <small>(食糧安全保障)</small>
<b>6</b> <b>水不足</b> <small>(飲料水、灌漑用水の不足)</small>	<b>7</b> <b>海洋生態系 損失</b> <small>(漁業への打撃)</small>	<b>8</b> <b>陸上生態系 損失</b> <small>(陸域及び内水の生態系損失)</small>

## 2 温室効果ガスをどのくらい削減する必要があるの？

- ・2050年度の排出量実質ゼロを達成するために、2030年度までに排出量**46%削減**を目指します。
- ・小千谷市の基準年度(2013年度)の年間排出量は約383千t-CO<sub>2</sub>のため、2030年度には約207千t-CO<sub>2</sub>まで削減する必要があります。



### 3 温室効果ガス削減のためにどんなことに取り組みばいいの？

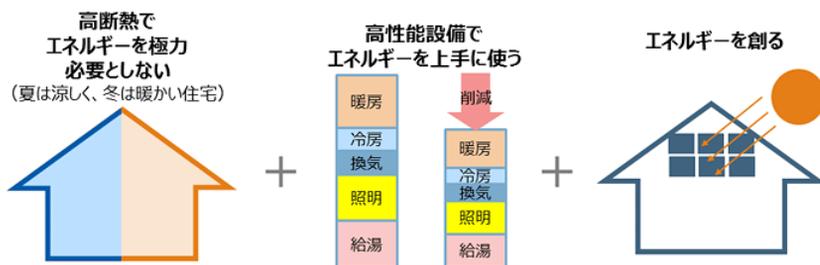
- ・温室効果ガスを削減するために、3つの基本方針に沿って取組を進めます。
- ・目標の達成には、市民、事業者、行政が連携・協働して取り組んでいくことが重要です。

#### 基本方針1 省エネルギーの推進

1	<b>省エネ行動の徹底</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水や節電、衣類・日用品の長期使用など、ライフスタイルへの転換</li> <li>・クールビズ・ウォームビズの推進</li> <li>・脱炭素につながる情報提供、市民・事業者の機運醸成</li> </ul>
2	<b>建物・設備の省エネ化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅のZEH(ゼッチ: ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)化や省エネリフォーム</li> <li>・事業所、公共施設等のZEB(ゼブ: ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化</li> <li>・照明のLED化や機器の高効率化</li> </ul>
3	<b>交通の省エネ化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの推進</li> <li>・徒歩や自転車・公共交通機関の利用など環境にやさしい方法への転換</li> <li>・電気自動車(EV)の導入や事業所・公共施設等への充電設備の設置</li> </ul>
4	<b>エネルギーの高度利用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅やビルのエネルギー管理システムの導入</li> <li>・EVからの給電や蓄電池の利用などエネルギーを相互に融通するしくみの導入</li> </ul>

#### ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

省エネによって使うエネルギーを減らし、再エネ発電でエネルギーを創ることで、エネルギー消費を正味(ネット)ゼロにした住宅



#### 基本方針2 再生可能エネルギー等の導入拡大

1	<b>太陽光発電の導入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅、事業所、公共施設への太陽光発電設備の導入</li> <li>・再エネ電力への切り替え</li> </ul>
2	<b>再エネ熱の導入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電化が難しい分野への再エネ熱(太陽熱、バイオマス熱、地中熱、雪氷熱)などの導入</li> </ul>
3	<b>技術開発・実証等の促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地でのソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)や未利用地での再エネ導入実証</li> <li>・再エネビジネスへの参入や技術開発などへの支援</li> </ul>

#### PPAモデルによる太陽光発電

Power Purchase Agreement(電力販売契約)の略で、近年注目が高まっている導入方式です。設備は第三者が所有するため、初期投資ゼロで太陽光発電を導入できます。



## 基本方針3 地域資源の有効活用



1	<b>天然ガスの地産地消</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の化石燃料から、よりクリーンな天然ガスへの転換</li> <li>・天然ガスで発電するエネファームや産業用ガスコージェネレーションの導入</li> <li>・カーボンニュートラルガスの導入</li> </ul>
2	<b>3Rの徹底</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リデュース: 食品ロス、ごみの発生の抑制</li> <li>・リユース: マイバックやマイボトルなど繰り返し使える製品の利用</li> <li>・リサイクル: 分別の徹底によるプラスチック資源などの循環、再生利用</li> </ul>
3	<b>CO<sub>2</sub>吸収源の促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国産材木利用の促進</li> <li>・カーボンオフセットの活用</li> <li>・森林の適正管理によるCO<sub>2</sub>吸収量の維持</li> </ul>

### カーボンオフセット

削減しきれないCO<sub>2</sub>を、森林保全など別の場所の取組で吸収・削減することで、相殺(オフセット)すること

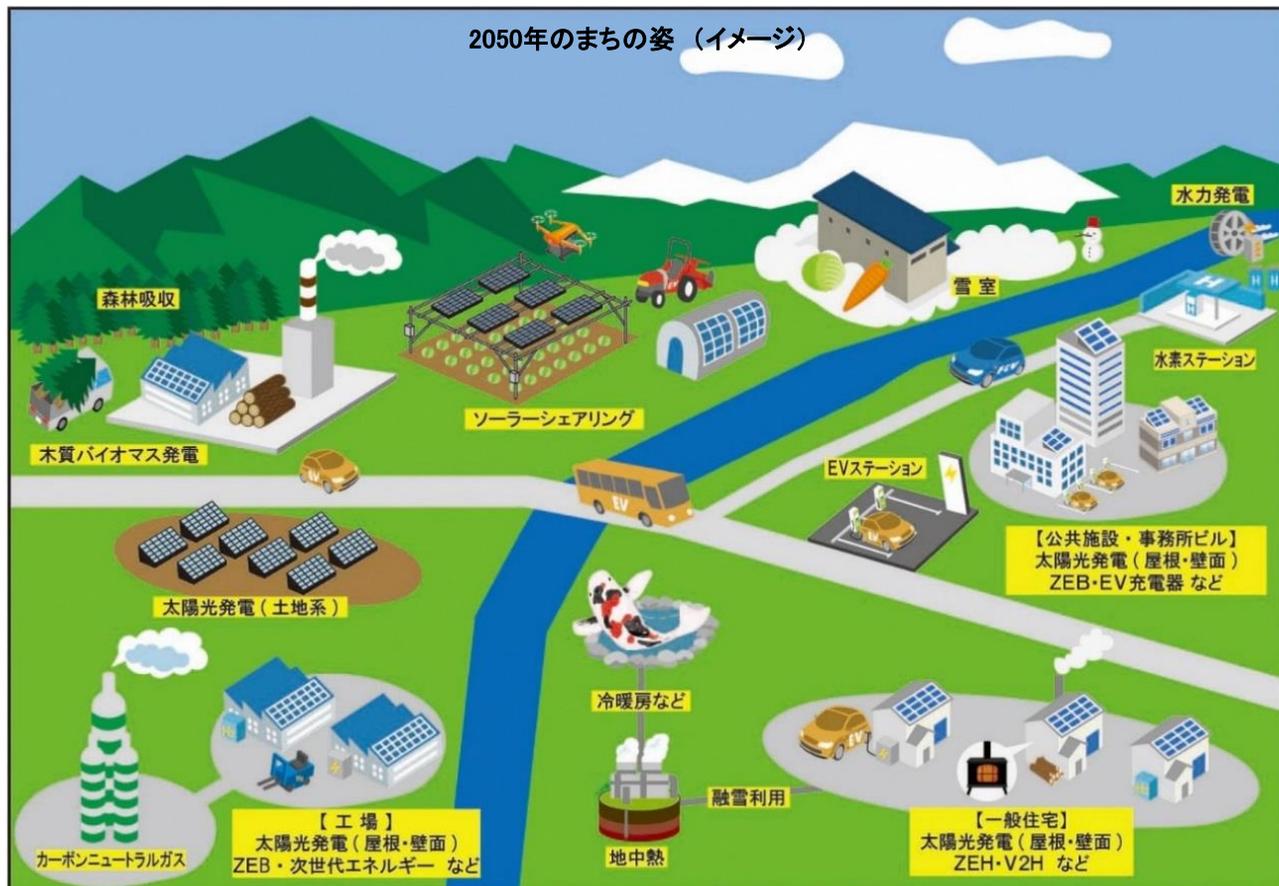
### カーボンニュートラルガス

天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生するCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセットすることで、使用してもCO<sub>2</sub>が発生しないとみなされる天然ガスのこと



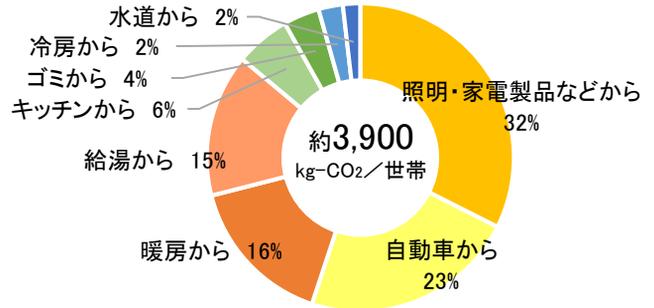
## 4 脱炭素社会の将来ビジョン

### 2050年のまちの姿 (イメージ)



# できることから始めよう！みんなができるゼロカーボンアクション

家庭から排出されるCO<sub>2</sub>は、市全体の約17%です。一人ひとりが今できることを積み重ねることで大きな効果があります。小さなことでも、できることから始めていきましょう。



2020年度日本の家庭からのCO<sub>2</sub>排出量用途別内訳  
(出典:温室効果ガスインベントリオフィス)

## 自宅や職場で

- エアコンの設定温度は冷房は28℃、暖房は20℃を目安にする
- テレビは見ていないときは消す
- 冷蔵庫は詰めすぎず、余分な開閉は減らす
- トイレの温水洗浄便座は、使わないときはふたを閉める
- 省エネルギー型の家電や照明を導入する
- 服装で温度調節をする（クールビズ、ウォームビズ）
- 宅急便の受取時間の指定や宅配ボックスを利用して再配達を減らす
- ごみを正しく分別する
- 食材を上手に使いきり、食品ロスをなくす



## お買い物で

- 中古品やリサイクル製品を活用する
- プラスチック使用の少ない商品を選ぶ
- 余分、不要なものは買わない
- マイバッグを持ち歩く
- 地元の食材や商品を選ぶ
- 長く着られる服を選ぶ



## おでかけで

- 車の相乗りやエコドライブ運転を実践する
- バスなどの公共交通機関を使う
- 近くへ行くときは歩いたり自転車を使う

